

令和6年第7回千葉市稲毛区選挙管理委員会定例会会議録

1 日 時	令和6年7月19日(金) 午前10時00分 ～ 午前10時30分					
2 場 所	稲毛区役所3階 選挙管理委員会室					
3 出席委員	委員長	山木 学	委員	戸村 稔		
	委員	立花 きみ	委員	堀米 宏		
4 出席書記	事務局長	松本 伸一	選挙班主査	佐藤 秀明	選挙班	金子 剛士
5 議 題	議案第19号	選挙人名簿抹消者について				
6 議事の概要	(1)前回会議録の審査	令和6年第6回千葉市稲毛区選挙管理委員会定例会の会議録について 全員異議がなかったので、原案のとおり決定した。				
	(2)議案第19号	選挙人名簿抹消者について 全員異議がなかったので、原案のとおり決定した。				
	(3)その他	次回開催日 次回会議の開催は、令和6年8月16日(金)午前10時00分と決定した。 明るい選挙推進協議会総会開催の報告				
7 会 議 経 過	(1)前回会議録の審査	令和6年第6回千葉市稲毛区選挙管理委員会定例会の会議録について 全委員:「異議なし」				
	(2)議案第19号	選挙人名簿抹消者について 全委員:「異議なし」				
	(3)その他	○次回開催予定日について ・次回会議の開催日時について、事務局から各委員に諮り、令和6年8月16日(金)午前10時00分と決定した。				
	○稲毛区明るい選挙推進協議会総会の開催報告 ・明るい選挙推進協議会総会が5年ぶりに対面にて開催されたことを報告。 総会にて委員から大学生や高校生への啓発の強化と大学生を投票立会人に起用することについての意見があったことを報告。 山木委員長:「大学によるのかもしれないが、地域で交流のある大学は自治会のイベント等で声をかけるとボランティアによく来てくれるので投票立会人についても協力をしてもらえる可能性があるのではないか。」 事務局:「大学生を立会人として起用することは千葉市選挙管理委員会との調整も必要になるが今後、実施可能かどうかも含めて検討を進める。」 山木委員長:「稲毛区が他区の手本となるような活動を今後も進めてほしい。」 戸村委員:「東京都知事選挙は色々話題が多い選挙であったが、結果としては投票率が高くなった。いままで選挙に行かなかった若者が選挙に行ったと聞いている。 街頭演説よりもSNSを活用した選挙活動や選挙をビジネスとしてとらえて活動したり、ポスター掲示場に候補者と関係のないポスターを掲示したりと今までの感覚では考えもつかないことが起きた。しかし結果をみれば若者が選挙に行った。 候補者や争点が話題になったことで投票率が上がることは当然起こることであるが、選挙管理委員会として別の方法で若者の投票率の向上を図る手は考えていく必要がある。」					

事務局:「稲毛区は市内で唯一、国際理工カレッジと連携した若者選挙プロジェクトを実施して
いる。今後も継続しつつ、区内にある大学との連携した啓発も模索していく。」
戸村委員:「啓発とは関係なくなるが、次の千葉県知事・千葉市長選挙でも東京都知事選の
ようなことが起きるかもしれない。「倫理観の欠如」「政治の腐敗」が一因なのかも
しれないいが、法整備も含め考えていかなければいけない時期に来ていると思う。
稲毛区選挙管理委員会としても、東京都知事選で起きたことは他人事ではなく
起こりうることとして考え、準備を進める必要がある。」
山木委員長:「当選できるのは1名しかいないのに、党が複数の候補者を公認として出すと
いうのも今まであまり見なかったように思う。」
事務局:「前回の千葉県知事選挙は、都知事選で落選した候補者が複数名立候補した経緯が
ある。東京都知事選の後最初の知事選挙となるため、今回も可能性は十分にある。
色々と規制すると選挙活動の自由を阻害する可能性もあるため、一概に規制をすれば
良いという事ではない難しい課題であるが、選挙管理委員会一丸となって次の選挙
に臨めるよう、準備を進めていく。」